

# 今ある施設を大切に。そのごみ、もっと減量できる。

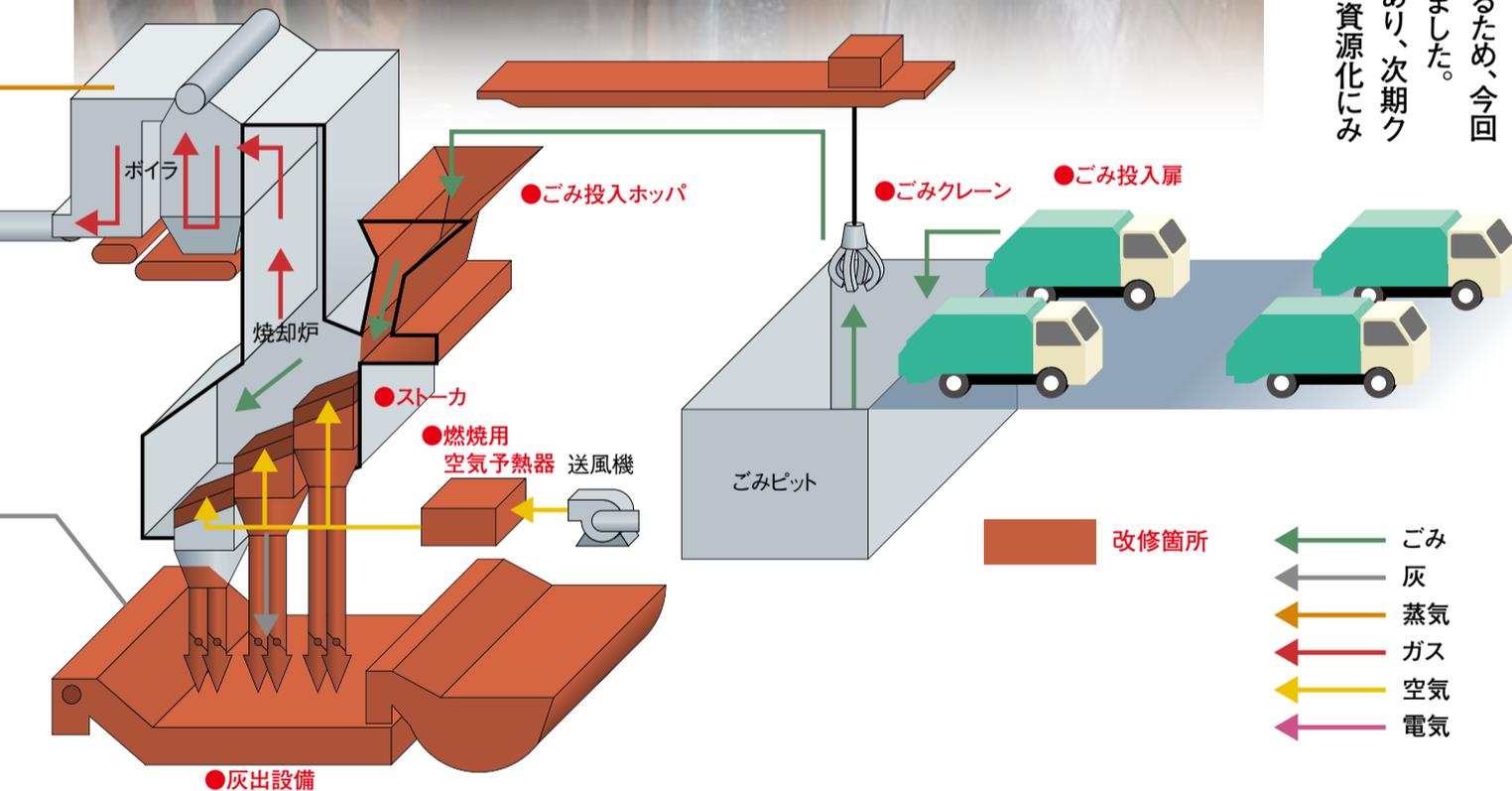
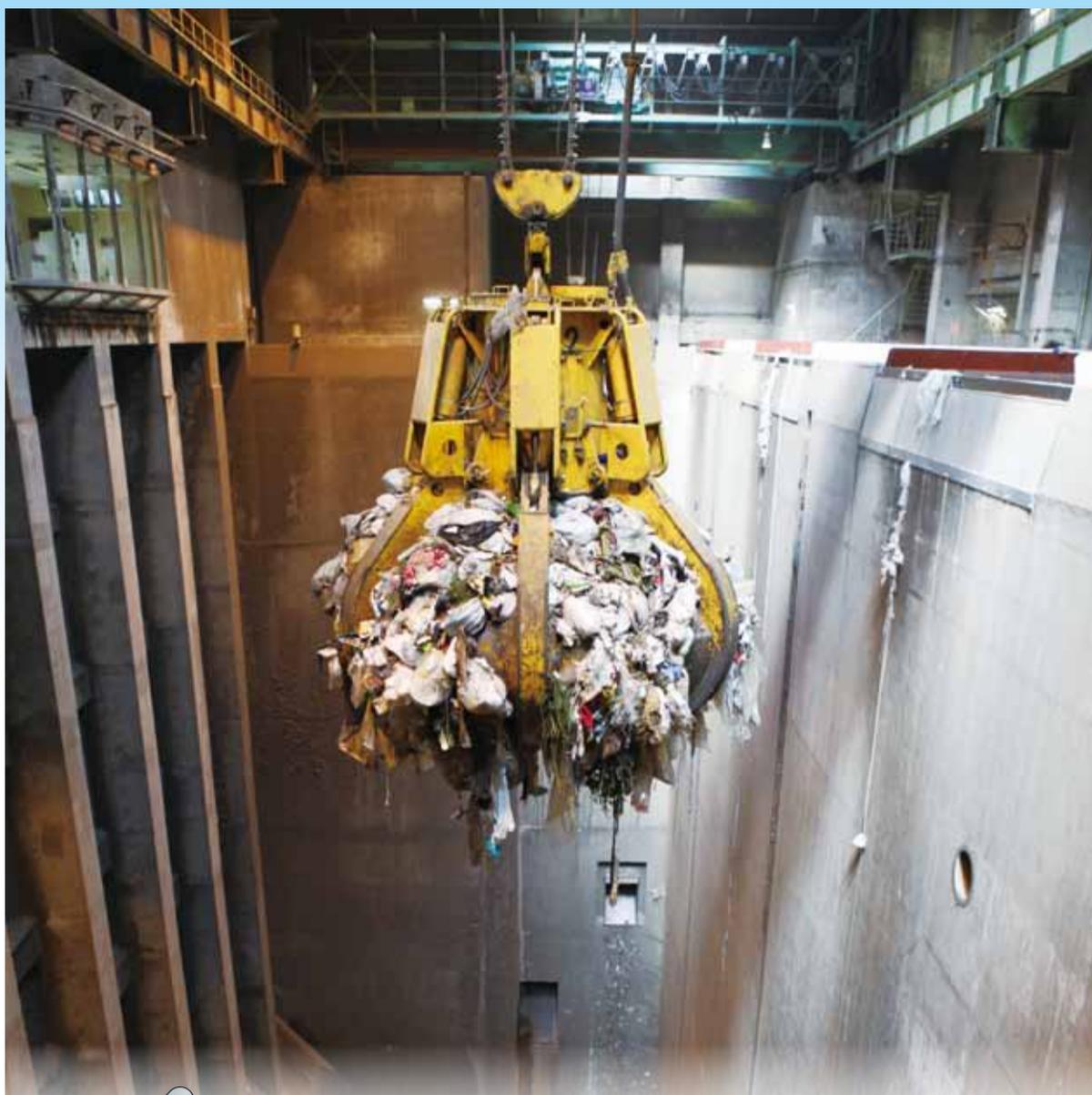
## クリーンセンター延命化工事が完了

クリーンセンター延命化工事が、4年間(平成22～25年度の歳月と約55億円の費用を掛け、10月に工事が完了しました。

延命化は、今ある施設を少しでも長く使うための手段で、市民のみなさんの負担軽減を図るものです。

クリーンセンターは、約20年で建て替える計画でしたが、そのためには多額の費用がかかるため、今回の工事であと10年使えるように改修しました。

延命化はあくまでも「つなぎ手」であり、次期クリーンセンター整備に向け、ごみの減量・資源化にみなさんと取り組みます。



ごみを燃やします

ごみをためます

街のごみを集めます

### クリーンセンター

市内の家庭から排出されたごみ(一般廃棄物)を直接クリーンセンターに、自己搬入することができます。

【場所】田尻1003番地

【電話】☎328-2326

【時間】午後1時～4時

【受け入れ日】月曜日～土曜日  
(日曜日、祝日及び、年末年始を除く)

【料金】10キログラムにつき210円  
(消費税相当額を加えた額)



## 1 生ごみの水切りをしましょう

生ごみの約80%が水分です。水分を減らして、ごみを減量しましょう。においの発生も抑えられ、一石二鳥です。

### ・水にぬらさない

洗う前に皮を剥いてぬらさないようにしましょう。

### ・水切りをしよう

ごみを出す前にぎゅっとひとしぼり。  
10%ぐらい減量できます。

### ・乾燥させよう

平たい容器に並べて、乾燥させてから  
ごみを出しましょう。

## 2 コンポスト(生ごみ処理機)を使いましょう

生ごみを堆肥化するコンポスト容器を使って、ごみの減量、リサイクルに取り組んでみませんか。市では、家庭の生ごみリサイクルを支援しています。

**補助金額**：容器1基につき、購入価格の2分の1(100円未満切り捨て)、最大3,000円

**対象**：市内に住所がある世帯で、1世帯2基まで。

**取扱指定店**：☎320-3971

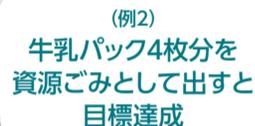
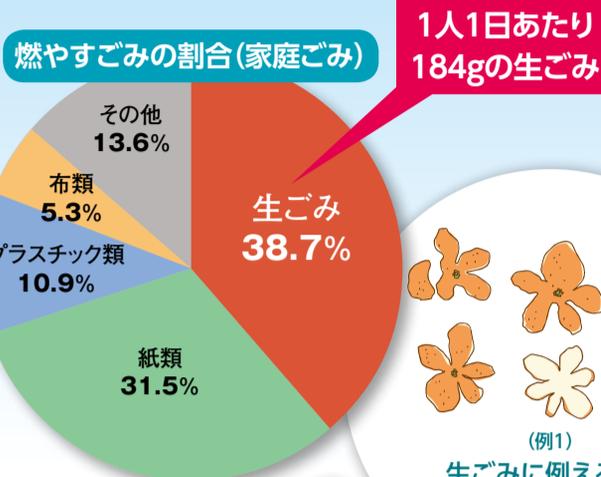
循環型社会推進課にお問い合わせください。



# そいぞいで、簡単な「二工夫」

燃やすごみのうち、一番多く含まれているのが生ごみで38.7%を占めています。紙類が31.5%、プラスチック類が10.9%、布類が5.3%、その他が13.6%です。

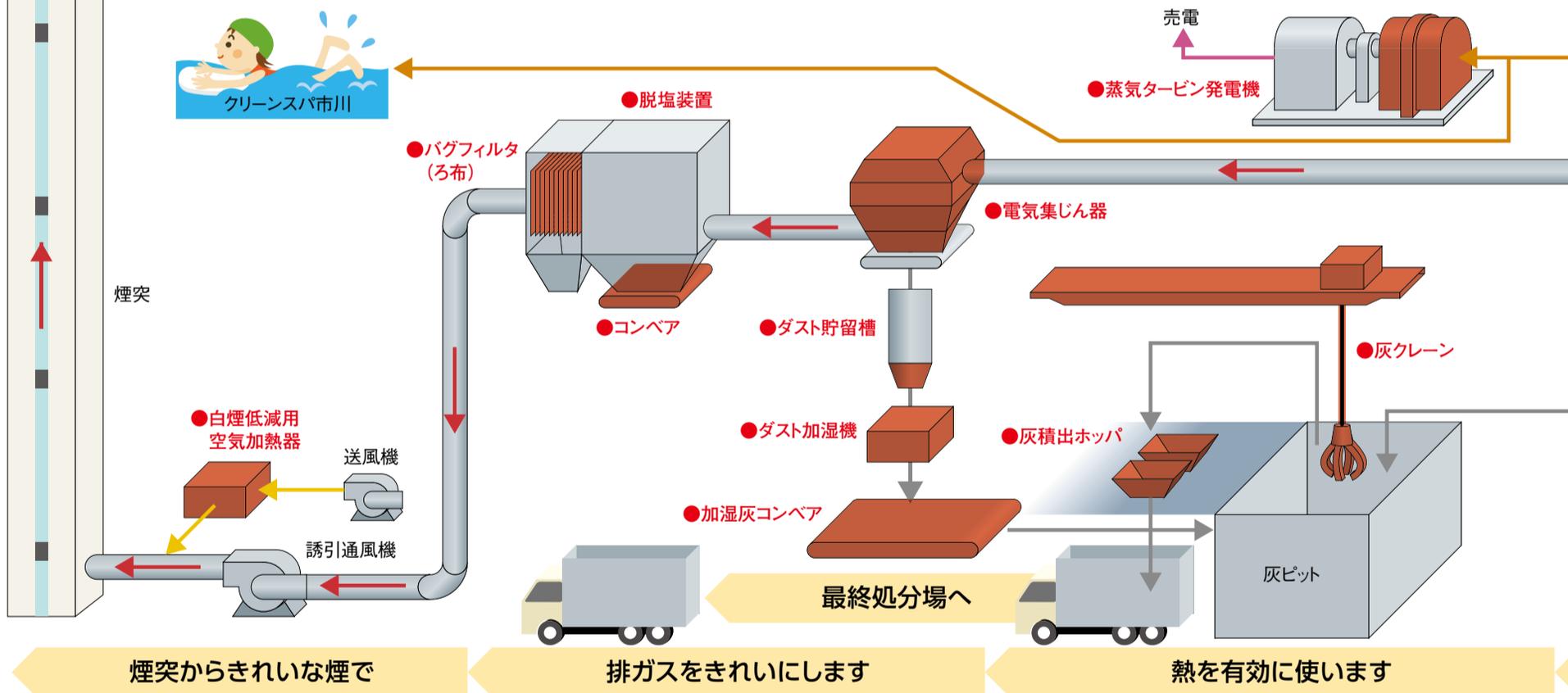
生ごみの減量をすすめるとともに紙類を(新聞・お菓子の空箱など)資源として出すことで減量につながります。



# ごみの減量

平成24年度の生ごみの総排出量は、145,353tで、23年度と比較して2.1%減少しています。一方で、市民1人1日あたりの家庭ごみ(燃やすごみ)の排出量は475gで、30年度の目標350gに対してあと125gの減量が必要です。

# ごみの減量に「二工夫」ご協力ください。



## 「コンポストと生ごみ堆肥について」 ～生ごみ資源化講演会～

コンポスト容器の使い方、堆肥の利用方法・効果について講演します。

**講** 庄司 博志 氏(市川市じゅんかんパートナー、Re-いちかわ代表)  
**日** 11月13日(水)午後2時～4時  
**場** 勤労福祉センター本館  
**申** 前日までに☎320-3971またはFAX379-0206(先着200人)  
 (循環型社会推進課)

## リサイクルプラザ

家庭で不用になった家具やベビー用品が有りましたら、無料で引き取れる場合がありますのでご相談ください。(状態によってはお引き取りできない場合もあります。)引き取られた家具やベビー用品は、展示・販売をしています。

**【場所】**南八幡2-18-9(分庁舎A棟1階)  
**【電話】**☎393-3215  
**【時間】**午前9時～午後5時  
**【休館日】**月曜日、年末年始  
 (月曜日が休日の場合は開館し、翌日の火曜日休館)  
 ※11月は5日(火)開館、4日(月)を休館します。

